

Elazzio

SEAT COVER



**SUZUKI / MAZDA
NISSAN / MITSUBISHI**

**EVERY WAGON / EVERY
SCRUM WAGON / SCRUM VAN
CLIPPER RIO / CLIPPER VAN
TOWN BOX / MINICAB VAN**

専用シートカバー取付説明書

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

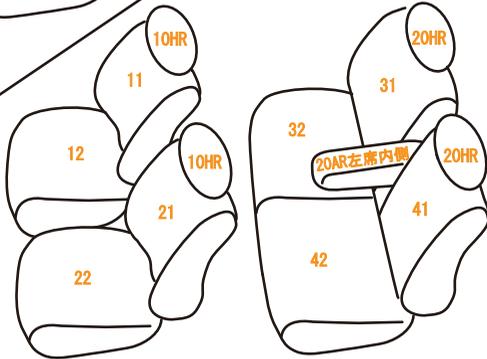
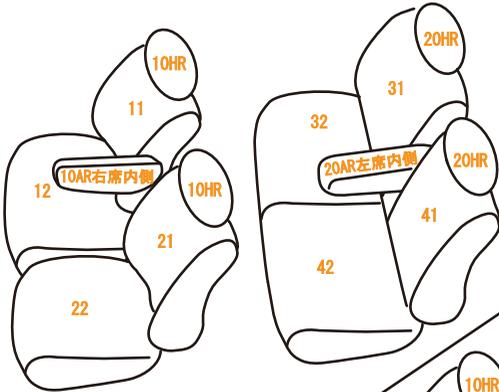
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 …→ 3P～4P
- WAGON：1列目運転席座面の装着方法 …→ 5P～7P
- WAGON：1列目助手席・VAN：1列目座面の装着方法 …→ 8P～9P
- 1列目運転席背もたれの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 10P～11P
- 1列目助手席背もたれの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 12P～13P
- WAGON：2列目座面の装着方法 …→ 14P～15P
- VAN：2列目座面の装着方法 …→ 16P～17P
- 2列目背もたれの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 18P～20P
- 1列目ヘッドレストの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 21P
- 2列目ヘッドレストの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 22P
- アームレストの装着方法(WAGON・VAN)共通 …→ 23P
- ヒモの結び方(WAGON・VAN)共通 …→ 24P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …→ 25P～26P

本製品シート形状とパーツの名称

ES-6080 (WAGON)



ES-6081 (VAN)

取付必要工具



- ① ソケットレンチ (ソケット : 12mm)
- ② プラスドライバー (No. 2)
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法 (WAGON用)

※こちらはWAGONタイプの説明です。
VANタイプは8ページから確認して下さい。



- 1 アームレストの下側から袋状のカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出しカバー裏に付いているベルトを後ろ側に出しておきます。



- 2 シート前側に①の位置を基点として、図の順番にラインを合わせながらカバーをシート全体にかぶせます。



- 5 カバーをシートのラインに合わせながら、外側面の生地を、ヘラ等を使用し、プラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6 シート内側の生地をシートベルトバックル下のプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。この時、内側の生地が付いている、ヒモとバックルも一緒に入れ込み、座面裏側に出しておきます。



- 7** シート下の台座前面にある純正のカバーをめくり上げ、シート固定用のレバーを外し座面を跳ね上げます。



- 10** 8番で引っ掛けたヒモを、シートレールに沿うようにプラスチック内を通し、背面から出します。



- 8** カバー前面内側に付いている1番短いベルトを5ページ6番で入れ込んだバックルとシート裏で固定します。次に、5ページ6番で入れ込んだヒモをシートベルトバックル下のプラスチックパーツに引っ掛けます。



- 11** 外側面のヒモをプラスチックカバーの下を通して背面へ出します。



- 9** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
※ベルトを強く引き過ぎると、生地が破れたり、ベルトが切れる恐れがありますので、注意して下さい。



- 12** 10番と11番で背面へ出したヒモをシートレールの上に引っ掛けます。
※シートレールの下にヒモを通すと、シートをスライドした際、ヒモが切れる恐れがあるので、注意して下さい。



- 13** 6ページ**12番**で引っ掛けたヒモを、結び留めて固定します。
※ヒモの詳細な固定方法は24ページを参考して下さい。



- 16** 5ページ**4番**で引き出した生地についているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。



- 14** カバー前面についている2本のベルトをスライドレバーの上を通し、上から下に垂らすようにして入れ込み、シート背面から引き出します。
ベルトの先にヘラなどをテープで巻き付けて入れ込むと、ベルトがシート背面から引き出しやすくなります。



- 17** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。



- 15** **14番**で背面から出したベルトと5ページ**4番**で出しておいたバックルを固定します。
※ベルトの固定方法は6ページ**9番**を参考して下さい。

Step2 1 列目助手席座面の装着方法 (WAGON・VAN共通)

※こちらは、WAGONタイプの助手席座面の装着方法ですが、VANタイプの運転席座面と助手席座面も同形状の為、以下の説明を確認して下さい。



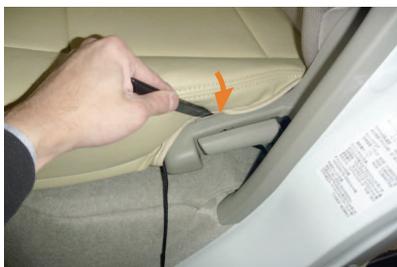
1 カバーを裏返し、シートのラインに合わせます。



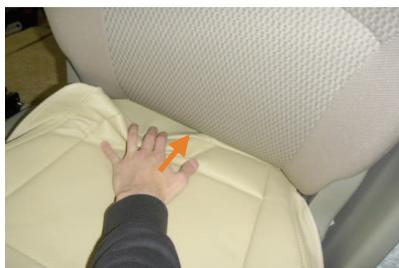
4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



2 シートのラインからずれないように、シート全体にカバーをかぶせます。



5 側面の生地をヘラ等を使用して、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。内側面も同様に行います。



3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



6 側面のヒモをプラスチックカバーの下を通し、背面へ出します。内側面も同様に行います。



- 7** 8ページ**6番**で背面に出したヒモを、運転席と同様にシートレールの上に引っ掛けます。
※6ページ**12番**を参考にして下さい。



- 10** カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。
VANタイプの運転席・助手席座面も同様に取り付けます。



- 8** **7番**で引っ掛けたヒモを、結び留めて固定します。
※ヒモの詳細な固定方法は24ページを参考にして下さい。

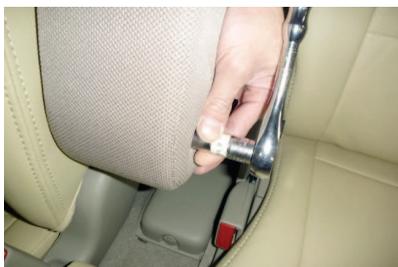


- 9** 8ページ**4番**で引き出した生地についているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。

Step3 1 列目運転席背もたれの装着方法(WAGON・VAN共通)



- 1** WAGONタイプはアームレストを外します。
VANタイプは**3番**から確認して下さい。
シート内側面に付いているアームレストのフタを、ヘラ等を使用して外します。



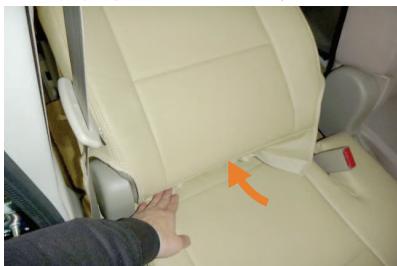
- 2** ソケットレンチ等(12mm)を使用して、アームレストを外します。



- 3** カバー両側面のファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。
この時、シートの肩口までしっかりとかぶせて下さい。



- 4** カバーの加工穴から生地伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。
※革を使用したカバーや一部生地が伸びにくいカバーでは、加工穴が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行っていたければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。
作業は慎重に行ってください。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



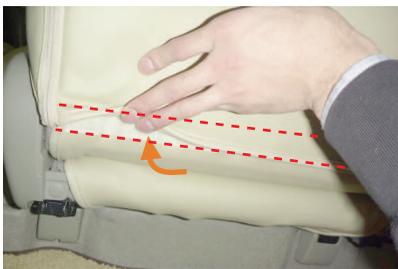
7 生地を内に寄せながらファスナーを閉めていき、ファスナーの端をカバー内側へ入れ込みます。



10 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。

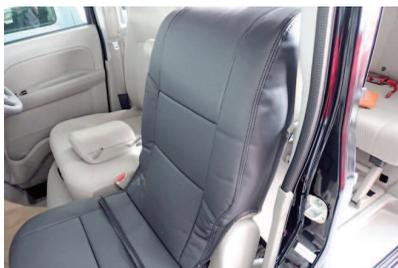


8 カバーをシートに馴染ませます。図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を10ページ6番と同様に背面から引き出します。



9 10ページ6番で引き出した生地が付いているマジックテープと、カバー背面下に付いているマジックテープを固定します。マジックテープの固定位置は、シートを1番後ろまで倒した時に、生地が座面に干渉しない位置に合わせています。

Step4 1 列目助手席背もたれの装着方法 (WAGON・VAN共通)



- 1** シート全体にカバーをかぶせませす。この時、シートの肩口までしっかりとかぶせて下さい。
※助手席のシートカバーには、側面のファスナーは付いていません。



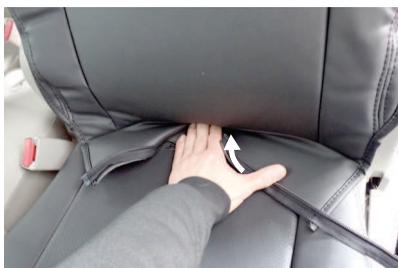
- 4** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 2** カバーの加工穴から生地の伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。



- 5** 引き出した生地とカバーの背面下の生地を寄せながら、カバーに付いているファスナーを閉めていきます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



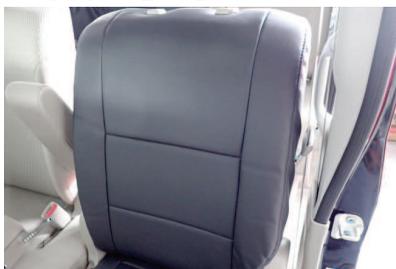
7 カバーの背面は図のようになります。



10 シートの背面下です。シートバックテーブルの内側に入れ込んだ固定部材はある程度厚みがあるため、図のように隙間ができます。固定部材が無いと生地がはみ出しやすくなるため、ご理解下さい。



8 シートバックテーブルのフちに、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



11 カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。



9 シートの背面は図のようになります。

Step5

2列目座面の装着方法(WAGON用)

※VANタイプは16ページから確認して下さい。



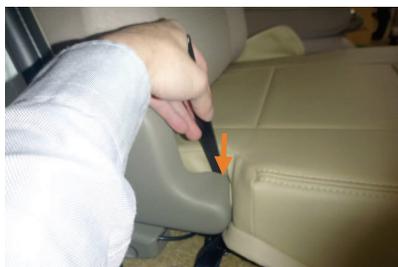
- 1** カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



- 4** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 2** シートのラインからずれないように、シート全体にカバーをかぶせます。



- 5** カバー外側面の生地をへら等を使用して、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** カバー内側面のヒモが通っている方の生地を、付属のへら等を使用して、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



7 14ページ6番で入れ込んだ生地の上から図のようにシート付け根の生地を入れ込みます。



10 カバー前面に付いているベルトをスライドレバーと矢印部分の上を通し、12ページの4番で引き出した生地に付いているバックルと固定します。



8 カバー外側面のヒモをプラスチックカバーの下を通し、背面へ出します。内側面も同様にプラスチックカバーの下を通します。



11 チャイルドシート固定用のアンカー3カ所とカバーの加工穴3カ所の位置を合わせます。



9 座面を跳ね上げ、8番で背面へ出したヒモを1列目座面と同様にシートレールの上に引っ掛けて、結び留めて固定します。※ヒモの詳細い固定方法は24ページを参考して下さい。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step5

2列目座面の装着方法 (VAN用)



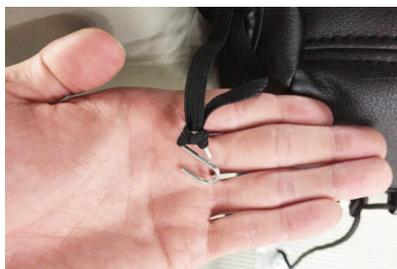
- 1 カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 2 シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



- 5 カバーの両端に付いているゴムに、金属フックを取り付けます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



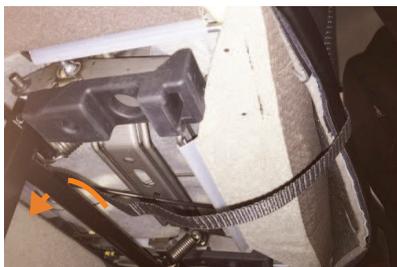
- 6 シートをめくり、座面裏側へゴムを通します。内側も同様に行います。



- 7** 座面裏に通したゴムを、座面裏にある金属バーに引っ掛けます。内側も同様に行います。
※ここからの作業は座面を跳ね上げると作業が行いやすくなります。



- 8** カバー外側面に付いているマジックテープを座面裏の金属バーに巻き付けるように固定します。



- 9** カバー前側に付いている2本のベルトを、座面裏の金属バーの上を通し、16ページ4番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 10** カバー両側面から出ているヒモを座面裏中央部分へ通します。



- 11** 10番で中央へ通したヒモを中央部分（図で記している箇所）で結び留めて固定します。
※ヒモの詳細な固定方法は24ページを参考にしてください。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step6

2列目背もたれの装着方法(WAGON・VAN共通)



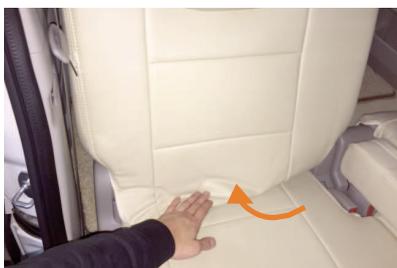
- 1** 助手席側はシート内側面に付いているアームレストのフタを外し、ソケットレンチ等(12mm)を使用してアームレストを外します。



- 4** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



- 2** シート背面下に付いているグリップを外します。グリップ両端のフタをヘラ等で開きドライバーを使用しネジを外すとグリップが外れます。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



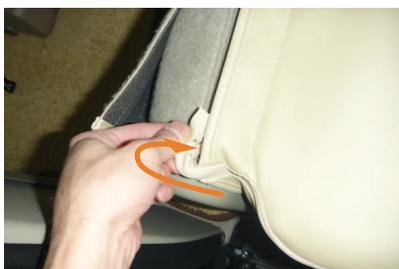
- 3** カバー外側面のファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。この時、シートの肩口までしっかりとかぶせて下さい。



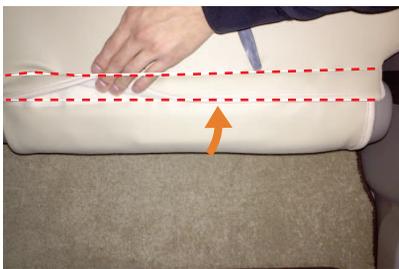
- 6** 入れ込んだ生地を、シート背面から引き出します。



7 生地を内に寄せながらファスナーを閉めていきます。



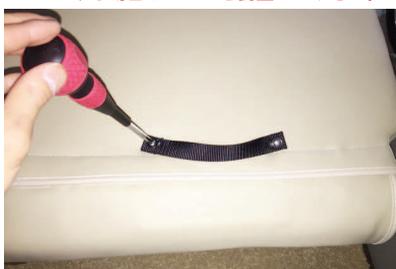
8 ファスナーの端をカバー内側へ入れ込みます



9 18ページ6番で引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下に付いているマジックテープを固定します。



10 18ページ2番で外したグリップの固定穴の位置を指で探り、カバーの上からボールペン等で印を付けます。
※印はマジックテープの少し上あたりになりますので、マジックテープ位置に印が来る場合はカバーを調整して下さい。



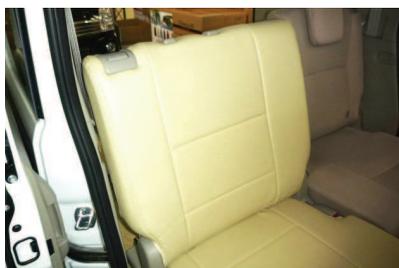
11 10番で付けた印を目安に、予め穴を開けておくか、ネジで生地を突き破り、グリップを元に戻します。



12 シートの肩口に付いている、リクライニングレバーをドライバー等を使用して外し、カバーの加工穴から取り出します。



- 13** 19ページ12番で外したリクライニングレバーのフチに、生地を挟み込み元通りに固定します。



- 14** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step7 1列目ヘッドレストの装着方法 (WAGON・VAN共通)



- 1** カバーを半分程裏返し、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。
※板状のプラスチックが付いている方が前になります。



- 4** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 2** 裏返している部分を左右交互に下にずらしていき、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

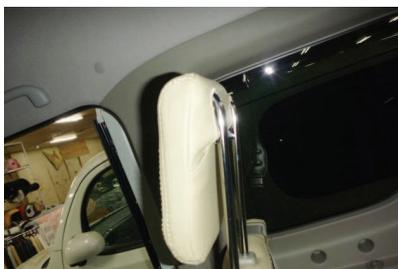


- 3** ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏でカバー前後に付いているプラスチックフックを固定します。
プラスチックフックの固定方法は4番を参考にしてください。

Step8 2列目ヘッドレストの装着方法 (WAGON・VAN共通)



- 1 ヘッドレストの先端から図のようにカバーをかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、プラスチックフックを固定します。
※プラスチックフックの固定方法は21ページ4番を参考にして下さい。
※カバーをヘッドレスト全体にかぶせていく際、ヘッドレスト背面のカバーに負荷が掛かり、生地が裂けてしまう恐れがあります。作業は慎重に行ってください。

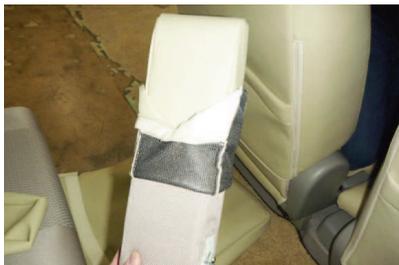


- 3 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step9

アームレストの装着方法（WAGON・VAN共通）

※こちらは、WAGONタイプの1列目アームレストで説明を行っています。
WAGON・VANタイプとも2列目のアームレストの形状は異なりますが、同様に装着して下さい。



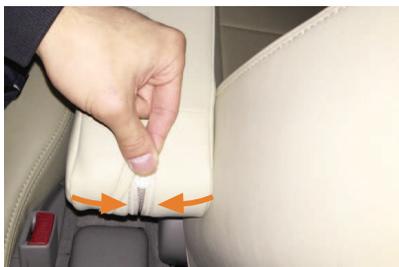
- 1** カバーを半分程裏返し、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 4** カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

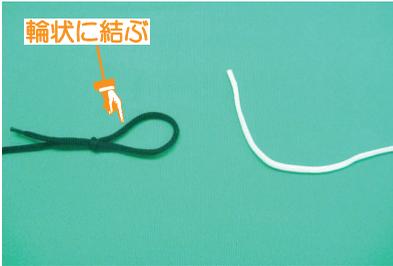


- 2** 内側のみカバーをかぶせ、ソケットレンチ等(12mm)を使用し、アームレストをシートに戻します。
アームレストを固定したら、10ページ1番で外したフタを閉めます。



- 3** 生地を内へ寄せながら、ファスナーを閉じます。

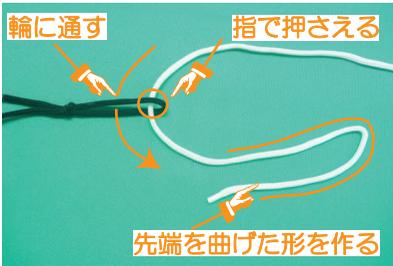
ヒモの結び方



1 ヒモの結び方です。
片方のヒモを図のように輪状に結びます。
※図は分かりやすいように、色の違うヒモ
を使用しています。



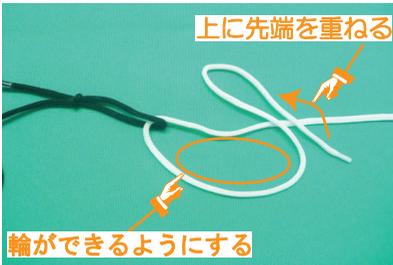
4 輪に、重ねた先端を裏から通します。



2 輪に、もう片方のヒモを通し引っ張ります。
ヒモが締まっている状態のまま、輪にヒモ
が通っている箇所を指で押さえます。この
後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したヒモの先端を図のような形に
します。



5 通した後、カバーから出ている方のヒモを
引っ張ります。
逆のヒモを引っ張ると、ヒモが抜けてしま
いますので注意して下さい。



3 曲げた先端を通してきたヒモの上に重ねま
す。重ねると図のような輪状の形になりま
す。



6 引っ張ると図のような形になり完成です。

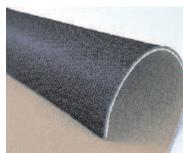


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

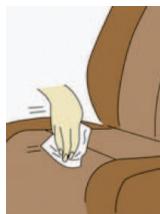


本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

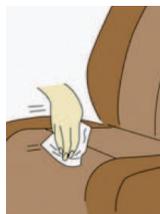
- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816